顧客を守る!

▶顧客の生活を支える

災害時に顧客へ必需品や必要なサービスを提供する

036

専門技術を駆使して建物や設備を被災前 の状態に戻す災害復旧サービス事業

 取組主体

 リカバリープロ株式会社

 従業員数
 想定災害
 実施地域

 40人
 水害等
 全国

- 火災や水害等に見舞われた企業の建物や設備を迅速に被災前の状態に戻す早期復旧サービスを実施。
- 専門技術を駆使し、低コストかつ短期間での事業再開を実現する。

取組の特徴(はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点)

早期復旧により、事業の中断による機会損失を削減

- リカバリープロ株式会社は、火災や水害等で企業が被災した際に、被害を受けた建物や設備を被災前の状態に戻す早期復旧サービスを行っている。同サービスには、建て直しや買換えに比べて圧倒的に低コストで、また短期間で事業を再開できるというメリットがある。
- 同サービスの費用削減効果は作業対象となる建物の大きさや設備の種類、またはそれらの数によって異なるが、平均すれば建替えや交換の費用に比べて3分の1程度となっている。また、工期も大幅に





専門技術を駆使して被災前の状態に戻す

圧縮されるため、事業の中断による機会損失を削減することができる。

• 同社は、国内大手損害保険会社5社と業務提携を結び、被災した企業への被害状況の調査や復旧方法の 提案を行うなどの復旧作業を行っている。被災後にメーカーや工務店等に連絡を入れる被災者も多いが、メーカ ーや工務店等は災害復旧を主たる事業としているわけではないため、災害復旧作業のための洗浄剤や専用の設 備、ノウハウを持ち合わせていない。他方、同社は、復旧のプロ集団として独自の技術をもっており、これまで蓄積 してきた知見と工法と合わせることにより、他社では真似のできない即応力、復旧スピードと作業品質を実現して いる。

近年の水害の多発を受け、水害への対応を強化

- 平成 22 年の設立以来、活動の8割は火災による被害からの復旧であったが、近年水害リスクが高まっていることから、水害への対応力を強化してきた。水害復旧は、復旧作業が遅れるほど被害が拡大し、費用もかさむことから、一刻も早い対応を行うため、必要な機材や作業員の数を増やすとともに、被災後すぐに現場にトラックで機材を持ち込んで待機し、できるだけ早く作業を行えるように工夫している。また、調査から復旧の実施までを一貫して行うために、提携している各損害保険会社、代理店、損害保険鑑定人との連携を行っている。
- 水害においては、汚泥や様々な汚染物質が流れてくる。一般に、洗浄は水道水で行うことが多いが、不純物を含む水で機械類を洗浄するとショートする危険性がある。また、乾燥は送風機を使ったり、自然乾燥によって行うことが多いが、時間がかかる上に不完全な結果に終わることも多く、最悪の場合には、後日カビの繁殖等による深刻な健康被害や、設備の腐食をもたらすことがある。
- 同社は、独自の洗浄剤を使って汚染を除去した上で除菌を行う。機器に対しては、すすぎに純水に近い洗浄水 「DI ウォーター」を使い、乾燥には専用の除湿乾燥機を使用して強制乾燥を行う。また、状況によっては、同じ工

国土強靱化

程内で空気清浄も同時に行い、空気中を浮遊する胞子を除去し、カビの発生を抑制するなどの工夫をしている。

• 平成 30 年 7 月豪雨による水害や、令和元年の台風 19 号の際には、広域水害等で被災した企業の復旧作業を行った。





水害発生直後の様子

同サービスによる復旧後の様子

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 平時においては、災害復旧のサービスの内容や、実績についてのセミナーを行っている。BCP 策定の主たる目的は 予防にあるが、災害には常に想定外のことがつきものであり、事後の対応として損害を抑え、一日も早い事業再 開を果たすための手段として、復旧サービスの紹介を行っている。
- 災害にあった設備の復旧においては、基板等の分解精密洗浄を行っている。この技術は定期的なメンテナンスの一環として行えば、予防保全の観点から将来の火災リスクを減らす上でも有効である。老朽化した設備のメンテナンス費用の削減につながるという理由から、有事の復旧作業の後、被災企業から予防保全のための洗浄作業を依頼されることがある。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同サービスの認知度がまだ高くないため、被災するまで聞いたことがなかったという顧客がほとんどである。災害復旧に特化した会社があるということを事前に広く知ってもらうことで、被災後に、より早く連絡をもらうことができれば、 復旧コストをより安価に、かつ復旧活動をより早く終わらせることができると考えている。
- また、広域災害では依頼が殺到するため、今後、より一層の設備投資と人員の拡充を行い、対応能力を強化していきたい。

4 周囲の声

• あまりにも被害が甚大で、一時は廃業すら考えた。想像よりはるかに安く、短期間で復旧できることができてほっと した。(サービス利用者)

担当者の声

• 災害復旧サービスはまだ日本国内では歴史が浅く、認知度も高くありませんが、欧米では40年以上の歴史があり、広く知られています。復旧の方法には買換え、建替えだけでなく、まだ使用可能なものを被災前の状態に戻す方法があり、当社はその専門業者です。被災企業の一日も早い復旧を可能とする手法であり、コストも安く済みます。

問合せ先

リカバリープロ株式会社 法人番号:8011701015195

TEL: 045-565-9201 FAX: 045-565-9206 E-Mail: kayoko.mohamed@recoverypro.jp